

飛 飛騨市新春経済懇談会 飛騨市経済界の更なる発展を

1月12日（日） 古川町公民館

飛騨市新春経済懇談会が古川町公民館で行われ、市内の企業代表者や各種団体役員、行政関係者など約120人が参加しました。

この懇談会は、飛騨市、古川町商工会、北飛騨商工会、神岡商工会議所が発起人となり、新春を迎え、飛騨市の更なる発展のために、経済団体をはじめとする関係者が新年の抱負や展望を語り合う場として毎年行われています。

祝宴では、市議会の中嶋議長が音頭を取って乾杯し、参加した関係者らは和やかに歓談していました。



懇談会のようす

新 第49回飛騨市ふるかわ元旦マラソン2020 春の古川を駆け抜ける

1月1日（水） ハートピア古川

第49回飛騨市ふるかわ元旦マラソン2020が開かれ、市民や帰省者ら1,094人のランナーが参加し、ハートピア古川を起点に思い思いの走りを堪能しました。

この日は、道路にはほとんど積雪もなくマラソンを行うには良い天気となりました。

開会式では、毎年恒例の仮装したランナーのパフォーマンス賞の発表や最初に受付をした石原さんファミリーによる選手宣誓が行われました。

マラソンでは、家族連れやスポーツ少年団など、参加者は1.7キロ、2.4キロ、4.2キロの3コースをそれぞれのペースで元気いっぱい走り抜きました。



元気よくスタートを切る参加者

百 古田茂子さん百歳褒賞 歳おめでとうございます

1月16日（木） 古川町是重

古川町是重の古田茂子さんが百歳を迎えられました。これに合わせ、市民福祉部の柚原部長らが自宅を訪問し、賞状やお祝いの花束などを古田さんに渡しました。

柚原部長は「百歳おめでとうございます。これからも健康でお元気でいてください」とお祝いの言葉を贈りました。

ご家族は「たくさんの方からお祝いしていただき、とても幸せだと思います。これからも元気でいてもらいたいです」と話していました。



花束を手に記念撮影

食 飛騨市減塩フォーラム 食品の減塩意識を高める

1月11日（土） 古川町公民館

食品の減塩意識を高めようと飛騨市減塩フォーラムが11日、古川町公民館で開かれ、食品を扱う関係者や市民ら約100人が参加しました。

この日は、日本高血圧学会減塩委員会オブザーバーの野村善博氏を講師に招き、「はじめよう!美味しい減塩」をテーマに全国で始まっている減塩の取り組みなどについて話がありました。

終了後には、減塩調味料などで調理された「マグロ朴葉焼」、「ころいも」、「しいたけ煮物」、「タケノコ煮物」、「浅漬け」など、7品目の減塩食品が並べられ、参加者らは減塩食品を試食し、美味しさ確かめました。



減塩の取り組みについて話す野村さん

冬 着物姿の女性らが良縁を願って の風物詩 三寺まいり

1月15日（水） 古川町市街地

古川町で200年以上続く冬の伝統行事「三寺まいり」が行われ、暖冬で積雪もなく小雨が降る中、約14,000人が足を運びました。

三寺まいりは、親鸞聖人のご遺徳を偲んで、円光寺、真宗寺、本光寺をお参りする習わしです。明治時代からは糸引きに行った女工たちが帰省し、着飾ってお参りをしたので、絶好の出会いの場となりました。

この日、瀬戸川沿いには約1,000本の和ろうそくが灯され、家族連れや着物姿の女性がゆらめく炎に手を合わせる姿や、恋愛成就を願う灯ろうが瀬戸川に静かに流れるなど、町は幻想的な雰囲気に包まれていました。



まつり広場で行われた点灯式



本堂で参拝する着物姿の女性ら



願いを込めて灯ろう流し

文 河合町で文化財防火デー消防訓練 文化財に対する防火意識の向上を図る

1月27日（月） 河合町 神明神社

1月26日の文化財防火デーに伴う消防訓練が河合町角川の神明神社で行われました。

この日は飛騨市消防本部北分署や古川消防署、地域住民ら24人が参加。神明神社から出火したという想定で、住民による通報と文化財の保護活動、署員による消防訓練が行われました。

訓練では、角川区長や神社氏子らによる初期消火訓練、文化財持ち出し訓練の後、区長から消防署へ119番で訓練通報。神社の階段下に指揮車・積載車や消防車が到着し、階段下から境内までホースを延長し設置された火点に放水訓練を行いました。



放水訓練を行う消防隊員

地 古川小学校の児童が飛騨古川の祝い唄を学ぶ 地域の魅力が詰まった祝い唄を作る

1月24日（金） 古川小学校

古川小学校6年生76人が24日、地域に伝わる祝い唄「若松様」と「ぜんぜのこ」を学び、今後他校との交流などで発表予定の、地域を紹介する替え歌を練習しました。

児童らは、教わった祝い唄で地域の魅力を伝えようと、児童10グループが1行ずつ「ぜんぜのこ」の歌詞を考え、古川祭や瀬戸川など町の魅力を唄にしました。

練習では、南さんから「歌詞の意味を考えながら唄いましょう。唄いだしの音程を間違えないように」などとアドバイスを受けながら、手拍子や太鼓の音に合わせて唄を練習しました。



手拍子に合わせて唄を練習する児童ら



飛騨市

Facebook 公式アカウント

飛騨市役所

まちの話題に掲載しきれないイベントや写真は市の公式Facebookで配信。



通 国道360号宮川2号トンネル貫通式 行車両の安全確保と交通網の強化へ

1月29日（水） 宮川町塩屋地内

飛騨市宮川町から富山へ抜ける国道360号種蔵・打保バイパスの一部（仮称）宮川2号トンネル（946m）が貫通し、その貫通式がトンネル内で行われました。

国道360号は、富山市を起点とし、飛騨市、白川村を経て石川県小松市に至る主要幹線道路で、宮川2号トンネルは、宮川町称宜ヶ沢上から巣之内までの道路として計画する種蔵・打保バイパスの一部として利用されます。

式典では、発注元の岐阜県古川土木事務所をはじめ工事関係者ら約70人が出席。貫通発破の後、小高い土手の通り抜けの儀、万歳三唱、樽神輿や鏡開きなどが行われ貫通を祝いました。



貫通発破のスイッチを押す関係者ら

ド 富山ドローンスクールと連携協定を締結 ローンで地域活性化を目指す

1月28日（火） 市役所

市と富山ドローンスクールを運営する学校法人北日本自動車学校との間で、ドローンを活用した連携協定の締結式が28日、市役所で行われました。

この協定は、同校のドローンに関する知識、技術を活用し、市消防職員や市民に対する安全なドローン操縦のための技術指導や、農業散布などをする産業用ドローンの推進、小中学生向けのドローン体験会などを今後実施していくものです。

協定式では、同校の中条充康理事長と都竹市長が出席し、中条理事長とそれぞれ調印を行った後、協定書を取り交わしました。



協定を締結した都竹市長と中条理事長

役 神岡中学校で俳優体験教室 になりきり演技やセリフを披露

1月31日（金） 神岡中学校

飛騨地区出身の俳優による俳優体験教室が31日、神岡中学校で行われ、同校1～3年生154人が台本を持って参加しました。

この日は、高山市出身の俳優中田裕一氏を講師に招き、オリジナル台本「不思議な扉から地獄に迷い込んだ気弱な中学生が、お酒好きの鬼と地獄めぐりをする物語」をグループに分かれて演技やセリフを体験しました。

授業では、中田さんから相手は何を思っているのか気持ち考えてセリフを言うことや、お芝居はコミュニケーションが大切であることなどのアドバイスを受け、俳優になりきって気持ちを込めながら演技を披露しました。



セリフの練習をする生徒ら

キ 講演会「人生100年時代のキャリア形成」 キャリア形成の重要性、市長らが語る

1月28日（火） 神岡町公民館

市民向け講演会（飛騨で働く魅力の発信事業）「人生100年時代のキャリア形成」が28日、神岡町公民館で開かれ、市民ら約50人が参加しました。

この日は、（株）十六総合研究所飛騨国サテライト主任研究員の田代達生氏を講師に招き、第1部に「人生100年時代のキャリア形成」についての講演、第2部に都竹市長、（株）Edo代表関口祐太氏を招いてのパネルディスカッションが行われました。

講演では、子どもの将来設計や老後問題などについて話があり、パネルディスカッションでは、キャリア形成などについてさまざまな意見が語られました。



パネルディスカッションで話す都竹市長